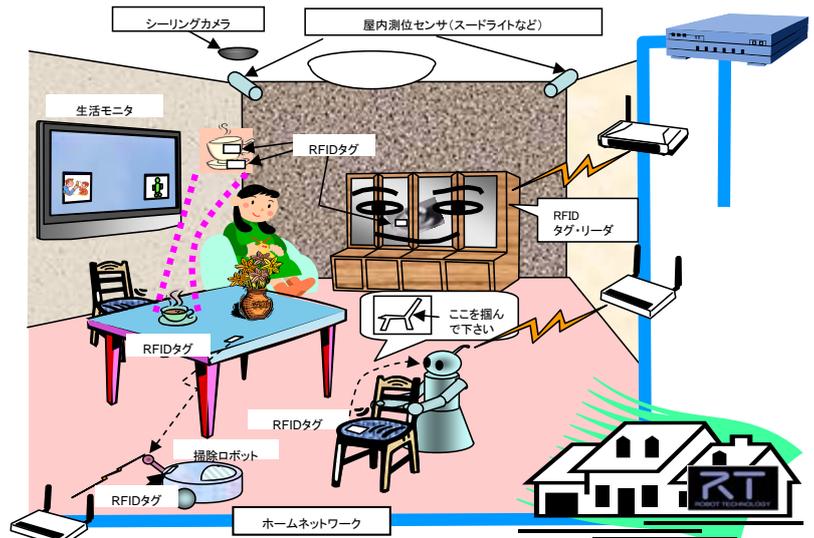


戦略重点科学技術(5)

世界に先駆けた 家庭や街で生活に役立つロボット中核技術

○市場ニーズに基づき、**サービス分野**において、**将来**、ロボットを活用して達成すべき**ミッションを設定**した上で、これを達成するために必要な**基盤的**ロボットシステム及び要素技術を開発する。

○生産分野、生活環境など、状況変化の激しい環境における様々な作業を確実に遂行するための**ロボット知能化技術**の開発や、要素部品等を繋ぐ**共通のプラットフォーム技術**を開発する。



2025年における生活支援ロボットの利用シーン例

対象となる施策(平成20年度)

ネットワーク・ヒューマン・インターフェースの総合的な研究開発
次世代ロボット知能化技術開発プロジェクト
基盤ロボット技術活用型オープンイノベーション促進プロジェクト
戦略的先端ロボット要素技術開発プロジェクト

【総務省】対象予算： 215百万円

【経済産業省】対象予算： 1,500百万円

【経済産業省】対象予算： 100百万円

【経済産業省】対象予算： 267百万円*

*印: 戦略重点科学技術の対象が予算案の一部である施策

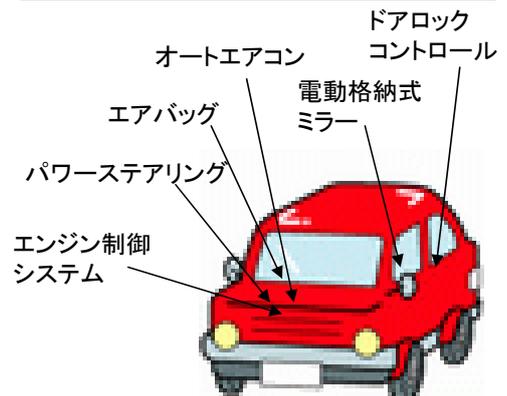
戦略重点科学技術(6)

世界標準を目指すソフトウェアの開発支援技術

○組み込みソフトウェア(ハードウェアを制御するソフトウェア)の開発力を強化するソフトウェア開発手法やその可視化技術及び高信頼な基盤ソフトウェア等の開発を行う。**組み込みシステムは我が国の自動車産業、情報家電産業等の多くを支える基盤技術。組み込みシステムは、我が国が国際競争力を持つ数少ないソフトウェア分野の一つである。**

○ソフトウェアの信頼性及び生産性を向上させる研究・手法開発や、情報アクセスの集中管理を可能とする仮想化技術の開発を通じ、ソフトウェア産業のみならず、ソフトウェアに益々依存していくと予想される我が国産業全体の競争力強化及び我が国経済社会システムの信頼性確保を図る。

1台の自動車に最大70~80もの組み込みシステム



自動車内の組み込みシステム

対象となる施策(平成20年度)

e-サイエンス実現のためのシステム統合・連携ソフトウェアの研究開発
ソフトウェア構築状況の可視化技術の研究開発
セキュアプラットフォームプロジェクト
情報家電センサー・ヒューマンインターフェイスデバイス活用技術の開発
IT投資効率向上のための共通基盤開発プロジェクト
産学連携ソフトウェア工学の実践のうち
①産学連携ソフトウェア工学の実践事業
②産学連携ソフトウェア工学の実践拠点
オープンソフトウェア利用促進事業

【文部科学省】対象予算： 340百万円

【文部科学省】対象予算： 80百万円

【経済産業省】対象予算： 800百万円

【経済産業省】対象予算： 321百万円

【経済産業省】対象予算： 800百万円

【経済産業省】対象予算： 1,400百万円*

【経済産業省】対象予算： 850百万円

【経済産業省】対象予算： 560百万円

*印: 戦略重点科学技術の対象が予算案の一部である施策